

篠山市のホームページでも掲載しています。ぜひ、ご覧ください。(市のホームページ > 広報丹波篠山 > タウンピックアップ)



篠山市を活性化する新しい風に 「神戸大学・篠山市連携協力協定」調印式

「神戸大学大学院農学研究科と篠山市との地域連携協力に関する協定書」の調印式を4月5日、市役所で行いました。昨年度から地域連携の仕組みづくりに取り組んできた篠山市と同農学研究科が、地域課題の解決や産業振興、まちづくりなどの分野で、双方の活性化と人材育成に貢献することを目的として締結。同大学の堀尾尚志理事・中村千春農学研究科長、酒井隆明市長、金野幸雄副市長らが出席し、協定書に調印しました。今後は、「篠山市を活性化する新しい風」として、特産の黒豆の栽培から販売にいたるまでの総合的な研究、学生による現地実習、研究成果を発表するフォーラムに取り組むなど、新たな連携事業が予定されています。

華麗で幽玄な能の舞を堪能 第34回「篠山春日能」

桜花の能として知られる第34回「篠山春日能」が4月14日、篠山春日神社（黒岡）で行われました。演目は、大槻文藏（おおつきぶんそう）さんによる「屋島」、観世鏡之丞（かんぜきやうのじやう）さんによる「葵上」、茂山千三郎（しげやませんざぶろう）さんの狂言「舎弟」。「屋島」（写真）は、屋島の浦を舞台に描かれたもので、年取った漁師が源平合戦の様を都の僧に語り、自分が源義経の霊であるとのめかして姿を消します。その夜、僧の夢の中に甲冑姿の義経が現れ、勇ましく戦った様子を振り返るといふ物語。この日、市内外から駆け付けた約600人の能楽ファンは、桜の下で繰り広げられる華麗で幽玄な舞を堪能していました。



時代絵巻の雰囲気を楽しむ 「青山神社例祭 少年武者・少女長刀行列」

桜の花が見ごろを迎えた4月7日・8日の両日、「丹波篠山さくらまつり」が篠山城跡周辺で行われ、多彩な催しに会場周辺は大いににぎわいました。一方、城跡内に位置する青山神社の例祭も併せて始まり、8日には「少年武者・少女長刀行列」が行われました。例祭は、周辺の6自治会が中心となって執り行われ、小学4年生から6年生までの男女55人が武者にふんじて参加。弓や長刀を携えた行列の一行は、青山神社から春日神社までの道のりを勇壮に練り歩きました。一行が通ると、沿道には大勢の観客が詰めかけ、時代絵巻の雰囲気を楽しみました。



子どもに安全をプレゼント 篠山青年会議所が交通安全旗を寄贈

篠山青年会議所（田中克一理事長）は4月5日、市役所を訪れて交通安全旗120本を寄贈しました。同会議所による旗の寄贈は30年目を迎え、毎年、新学期を迎えるこの時期に行われています。田中理事長は、「子どもの登下校の際の安全確保に活用してほしい。私も一人のドライバーとして運転には十分注意します」とコメント。旗を手渡された河南秀和教育長は、「子どもたちが笑顔で登下校できるよう安全確保に努めます」と感謝の気持ちを伝えました。



開園から52年の歴史に幕をおろす 畑幼稚園「閉園式」

城北幼稚園との統合により、畑幼稚園では3月19日、閉園式が行われました。閉園式に先駆けて最後の卒園式が行われ、卒園する園児たち4人は、長谷川省悟園長から修了証書を受け取りました。続く閉園式には地元の自治会長の皆さんも出席し、園児たちの活動を写真などで振り返りました。最後に園児たちは、楽しく過ごした同園の遊戯室で「世界が一つになるまで」を元気に合唱（写真）。開園から52年の歴史に幕をおろしました。なお、統合された2園は、4月から「たまみず幼稚園」としてスタートしています。



市民間の国際交流を深める 姉妹都市「米国ワラワラ市短期留学」

3月24日から4月5日までの13日間、市内高校生の皆さんからなる短期留学生訪問団（高校生7人・随行者3人）が、米国ワシントン州ワラワラ市を訪問しました。訪問団は、ホームステイ先のホストファミリーに温かく迎えられ、ワラワラハイスクール（高校）やワラワラコミュニティカレッジ（大学）で米国の文化や言語、生活を体験。ホストファミリーの皆さんと楽しいときを過ごしながら、両市の市民間の交流を深めました。